

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	グルノーブル美容専門学校
設置者名	学校法人 北埼玉学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	美容科	夜・通信	1050 授業時数	160 授業時数	
	美容科Ⅱ部	夜・通信	1050 授業時数	90 授業時数	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://gurubi.ac.jp/report/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-① 【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	グルノーブル美容専門学校
設置者名	学校法人 北埼玉学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://gurubi.ac.jp/report/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社経営	2023.1.6～ 2026.1.5	組織運営体制への チェック
非常勤	会社経営	2023.1.6～ 2026.1.5	組織運営体制への チェック
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	グルノーブル美容専門学校
設置者名	学校法人 北埼玉学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各科授業科目の作成は、学科教育内容の事業計画を立てた上で、校長、副校長、教務主任を踏まえカリキュラムの構成授業の設定を行っている。</p> <p>シラバスに関しては、科目名、授業時間数、担当教員名、授業方法(講義、演習、実習など)、授業の内容、計画、到達目標、成績評価の方法、基準を全科目で記載し、学内統一にて作成している。</p> <p>○授業計画の作成・公表時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成時期：12月中旬～3月下旬 ・公表時期：3月31日 	
授業計画書の公表方法	https://gurubi.ac.jp/report/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>○履修認定の厳格かつ適正な実施状況</p> <p>各学生が履修した科目の学修成果を、シラバスに明示してある学習の到達目標とその評価の方法(成績評価の方法・基準)に基づき、課目担当教員が総合的に評価をすることで、厳正かつ適正に履修を認定している。</p> <p>当該科目の標準的達成レベルの目安(成績評価で「A」に相当する能力・技能)を具体的な学習到達目標とし、目標達成度を測るために相応しい評価方法(試験、小テスト、課題、レポート、発表・実技、授業への参加・意欲、その他)を行っている。</p> <p>なお、1年次末には、進級判定会議をもって進級を、2年次末には卒業判定会議をもって卒業するものとする。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

○GPAの実施に係る取組の概要

学生自身が、学内での成績の相対的な位置づけを確認し、意欲的に学習を進めていくことができるよう、公平性と透明性を確保し、かつ国際的に通用する基準である GPA (Grade Point Average)

制度を用いた成績評価を行い、修学指導や優秀な学生の表彰等に利用する。

○GPAによる成績評価の指標設定

設定した算出方法により、GP 数値を算出している。なお、この算出方法は、<https://gurubi.ac.jp/report/>に公表している。

- 1 成績の評価は、試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して判定する。
- 2 成績の評価 (GP) は次の通りとし、A, B, C, D 及び E を合格とし、所定の単位を与える。

評価	評点	GP
A	90点～100点	4
B	80点～89点	3
C	70点～79点	2
D	60点～69点	1
E	追試験及び再試験合格者	1
F	59点以下	0
放棄	0点	0

- 3 放棄とは、授業時間の3分の1を超えて授業に出席せず、又は試験を受けなかった場合をいう。
- 4 成績の評価がFや放棄など不合格になった科目は、追試験を受験し、合格すれば改めて履修することができる。
- 5 平均評価点 (GPA) は、学生が受講した個々の授業の成績評価を総合した達成度の測定のことであり、次の算式で算出するものとする。

$$\text{平均評価点 (GPA)} = ((A \text{ の単位数} \times 4 + B \text{ の単位数} \times 3 + C \text{ の単位数} \times 2 + D \text{ の単位数} \times 1 + E \text{ の単位数} \times 1) / (\text{総登録単位数}))$$

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://gurubi.ac.jp/report/>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○卒業認定の方針 (ディプロマシー)</p> <p>本校が育成する人材の到達目標として設定する以下の資質能力を身に付け、基準となる授業時間数を習得し、卒業要件を満たしたものに卒業を認定する。</p> <p>①建学の精神を理解し、学則を遵守する。</p> <p>②業につく意思がある。</p> <p>③美と健康に興味をもち、業を通じて人を笑顔に、人を幸せにしたいという、おもてなしの心を持って行動する。</p> <p>○卒業認定に関する取組の概要</p> <p>1 入学・卒業学年の最初に、卒業要件について資料を配布し、履修が必要な科目の明示と履修に必要な具体的要件の説明を行う。</p> <p>①全過程を履修</p> <p>②科目ごとの出席率が3分の2以上</p> <p>③総合評価において合格基準を満たす</p> <p>④学生納付金を完納</p> <p>2 卒業判定会議で全学生の評価や出席状況などの履修状況を並べ、卒業の基準を満たす学生には卒業を認定している。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://gurubi.ac.jp/report/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	グルノーブル美容専門学校
設置者名	学校法人 北埼玉学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://gurubi.ac.jp/report/
収支計算書又は損益計算書	https://gurubi.ac.jp/report/
財産目録	https://gurubi.ac.jp/report/
事業報告書	https://gurubi.ac.jp/report/
監事による監査報告（書）	https://gurubi.ac.jp/report/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2040 単位時間/単位	単位時間 990/単位	単位時間 /単位	単位時間 990/単位	単位時間 /単位	単位時間 120/単位
	夜		2040 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		37人	1人	5人	11人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

各科授業科目の作成は、学科教育内容の事業計画を立てた上で、校長、副校長、教務主任を踏まえカリキュラムの構成授業の設定を行っている。

シラバスに関しては、科目名、授業時間数、担当教員名、授業方法（講義、演習、実習など）、授業の内容、計画、到達目標、成績評価の方法、基準を全科目で記載し、学内統一にて作成している。

○授業計画の作成・公表時期

- ・作成時期：12月中旬～3月下旬
- ・公表時期：3月31日

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>各学生が履修した科目の学修成果を、シラバスに明示してある学習の到達目標とその評価の方法（成績評価の方法・基準）に基づき、科目担当教員が総合的に評価をすることで、厳格かつ適正に履修を認定している。</p> <p>当該科目の標準的な達成レベルの目安（成績評価で「A」に相当する能力・技能）を具体的な学習到達目標とし、目標到達度を測るために相応しい評価方法（試験、小テスト、課題、レポート、発表・実技、授業への参加・意欲、その他）を行っている。なお、1年次末には進級判定会議をもって進級を、2年次末には沿都合判定会議をもって卒業するものとする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>○卒業認定の方針（ディプロマポリシー）</p> <p>本校が育成する人材の到達目標として設定する以下の資質能力を身に付け、基準となる授業時間数を修得し、卒業要件を満たしたものに卒業を認定する。</p> <p>① 建学の精神を理解し、学則を遵守する</p> <p>② 業につく意志がある</p> <p>③ 美と健康に興味をもち、業を通じて人を笑顔に、人を幸せにしたいという、おもてなしの心を持って行動する。</p> <p>○卒業の認定に関する取組の概要</p> <p>1 入学・卒業学年の最初に、卒業要件について資料を配布し、履修が必要な科目の明示と履修に必要な具体的要件の説明を行う。</p> <p>① 全課程を履修</p> <p>② 科目ごとの出席率が3分の2以上</p> <p>③ 総合評価において合格基準を満たす</p> <p>④ 学生納付金を完納</p> <p>2 卒業判定会議で全学生の評価や出席状況などの履修状況を並べ、卒業の基準を満たす学生には卒業を認定している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>日本学生機構の奨学金</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22人 (100%)	0人 (%)	22人 (100%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 美容室、美容業界、美容教材会社			
（就職指導内容） 面接指導、美容技術指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 美容国家資格、ネイル検定、メイク検定、マツエク検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37人	6人	16.2%
（中途退学の主な理由） 出席不良、授業料滞納		
（中退防止・中退者支援のための取組） 面談、家庭訪問、補講、奨学金推進		

2

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
衛生	美容専門課程	美容科Ⅱ部	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	2010 単位時間/単位	単位時間 990/単位	単位時間 /単位	単位時間 990/単位	単位時間 /単位	単位時間 120/単位
	2010 単位時間/単位						
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	0人	0人	4人	6人	10人		

<p>カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）</p> <p>（概要）</p> <p>各科授業科目の作成は、学科教育内容の事業計画を立てた上で、校長、副校長、教務主任を踏まえカリキュラムの構成授業の設定を行っている。</p> <p>シラバスに関しては、科目名、授業時間数、担当教員名、授業方法（講義、演習、実習など）、授業の内容、計画、到達目標、成績評価の方法、基準を全科目で記載し、学内統一にて作成している。</p> <p>○授業計画の作成・公表時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成時期：12月中旬～3月下旬 ・公表時期：3月31日
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>各学生が履修した科目の学修成果を、シラバスに明示してある学習の到達目標とその評価の方法（成績評価の方法・基準）に基づき、科目担当教員が総合的に評価をすることで、厳格かつ適正に履修を認定している。</p> <p>当該科目の標準的な達成レベルの目安（成績評価で「A」に相当する能力・技能）を具体的な学習到達目標とし、目標到達度を測るために相応しい評価方法（試験、小テスト、課題、レポート、発表・実技、授業への参加・意欲、その他）を行っている。なお、1年次末には進級判定会議をもって進級を、2年次末には沿都合判定会議をもって卒業するものとする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>○卒業認定の方針（ディプロマポリシー）</p> <p>本校が育成する人材の到達目標として設定する以下の資質能力を身に付け、基準となる授業時間数を修得し、卒業要件を満たしたものに卒業を認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 建学の精神を理解し、学則を遵守する ⑤ 業につく意志がある ⑥ 美と健康に興味をもち、業を通じて人を笑顔に、人を幸せにしたいという、おもてなしの心を持って行動する。 <p>○卒業の認定に関する取組の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 入学・卒業学年の最初に、卒業要件について資料を配布し、履修が必要な科目の明示と履修に必要な具体的要件の説明を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ⑤ 全課程を履修 ⑥ 科目ごとの出席率が3分の2以上 ⑦ 総合評価において合格基準を満たす ⑧ 学生納付金を完納 2 卒業判定会議で全学生の評価や出席状況などの履修状況を並べ、卒業の基準を満たす学生には卒業を認定している。

学修支援等 (概要) 日本学生機構の奨学金

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
美容科	45000円	360000円	207000円	実習費、施設維持費
美容科Ⅱ部	45000円	360000円	207000円	実習費、施設維持費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				
日本学生支援機構				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://gurubi.ac.jp/report/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>・主な評価項目</p> <p>基準1) 教育理念・教育目標 基準2) 教育活動・教育成果 基準3) 学生の募集と受け入れ 基準4) 教職員組織 基準5) 教育環境 基準6) 学生支援 基準7) 管理・運営</p> <p>・評価委員会の構成</p> <p>委員の定数：10名以下 委員の選出区分：関連業界等関係者、評価対象校の教育に関する分野の有職者、卒業生、保護者、関係団体・中学校・専修学校関係者 但し、当該学校の職員以外の者</p> <p>・評価結果の活用方法</p> <p>評価委員会は、改善要望等を出し合い改善に向け改善状況の確認をし、教育活動その他の学校運営が適切に行われるよう活用する。 評価結果を踏まえた改善方策の実施時期：3月 評価結果報告、4月～9月 前年度評価結果を踏まえた改善方策の実施、10月～11月 改善状況確認</p> <p>責任者：理事長</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 NEO	2022.4.1～2024.3.31	関連業界等
株式会社 ボォーチェ	2022.4.1～2024.3.31	関連業界等
希望館 八幡の家	2022.4.1～2024.3.31	卒業生
神川中学校	2022.4.1～2024.3.31	教育機関
株式会社 若勇組	2022.4.1～2024.3.31	保護者
本庄市子供会育成連合会	2022.4.1～2024.3.31	地域住民

学校関係者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

https://gurubi.ac.jp/report/

第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

https://gurubi.ac.jp/report/
